

おひとりさまマガジン

文芸春秋12臨時増刊号 94ページ

[万が一編]

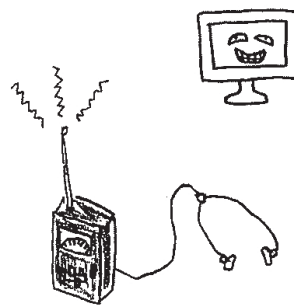


常に誰かに 見られている!?

盗聴器によるプライバシー侵害事件が増加中。その原因にメーカーが安くて高性能な盗聴器を次々と開発していることと、ネット販売などで手軽に、顔も知られずに購入できるようになったことがあります。留守中というよりは、入居前に取り付けられていることが多いといわれています。引越前にチェックしておきたいもの。調査を請け負う引越業者もあります。盗聴被害は気分が悪いだけでなく、より悪質なストーカー行為につながるかもしれないから要注意。自分しか知らないはずの情報を他人が知っているとか、不思議と自分の状況と一致したDMが届いたら、一応盗聴を疑ってみましょう。調査は、専門の調査会社に依頼す

ることになりますが、悪質な会社もあるようなので、まずは特定非営利活動法人（NPO法人）日本情報安全管理協会に相談するのも一考。自分で調べたいのなら、秋葉原の電気街やネットで盗聴探知機が簡単に手に入ります。仕掛けられている場所は電源の近く、たとえばコンセント、電話機、家電製品の周りなど。贈り物に仕掛けられていた例もあるというので、知人友人も要注意？盗聴器が設置されていないでも受信機を持つ人に簡単に盗聴される場合もあります。それはアナログ固定電話の子機。大事な話は親機でするほうが安心です。

[日本情報安全管理協会]
03-5765-7677
<http://www.jilcom.or.jp/index.html>



[万が一編]

